

## IV. 産業人材の育成・確保

働いて良しの奈良県を目指すための4番目の柱としては、働く環境づくりとともに、働く主体である「人材」を育成していくことが、「働いて良し」の奈良県の実現にとって欠かせない要素と考えています。

- 人材の育成
- 教育
- 人材の確保
- 起業

## 人材の育成

### <奈良らしい産業人材の育成>

- ◆ 県内産業を支える人材を継続的に育成し、専門的な知識・技能を習得するための取組を強化することが必要。
- ◆ 奈良の産業に合った、奈良らしい人材の育成が必要。



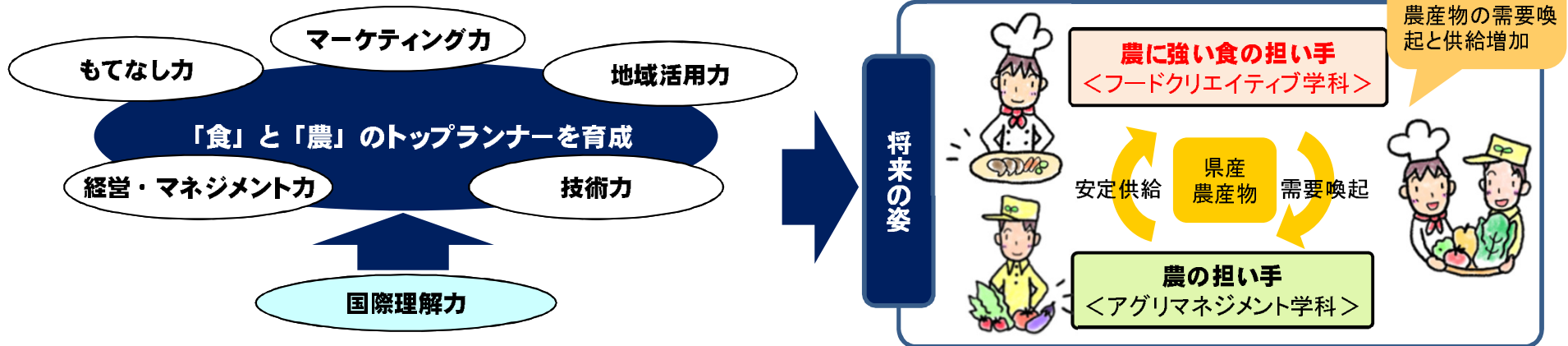
- 奈良の食材の良さを活かし、地域性や季節感を大切にするシェフがいる、行ってみたい、食べてみたいと思わせる**魅力ある飲食店を増やすとともに、食の担い手である料理人やサービス人をしっかりと育成**するため、料理人等の人材育成に乗り出しました。
  - 高等技術専門校では、県内企業のニーズに応じた職業訓練を通じて、**さまざまな産業で活躍できる人材の輩出**を目指す。
  - 訓練内容見直しの取り組みとして、質の高い観光地づくりとサービスの充実に力を発揮し、県内で長く活躍できる人材の育成につながるよう、高等技術専門校に**民間ノウハウを導入した「観光マーケティングコース(仮称)」**を新設。
  - これからの奈良県を担う**人材育成の方針を教育の面から位置付けた奈良県教育振興大綱**を策定。
- **奈良らしい産業人材をどのように育成していけばよいらるか。**

なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)を開校(平成28年4月)し、**農業・農作物に関する知識を持った「食の担い手」**を育成します。

また、校内に一般客がゆったりと美味し料理を楽しめる「オーベルジュ・ド・ぷれざんす桜井」を平成27年9月に先行オープン、好評を得ています。

産業興し(農業・料理飲食業)

## なら食と農の魅力創造国際大学校の人材育成コンセプト



### ◆フードクリエイティブ学科第一期生 15名

男性7名、女性8名 年齢構成:18才~63才



安倍校舎鳥瞰写真



オーベルジュ・ド・ぷれざんす 桜井 メインダイニング

### フードクリエイティブ学科の概要

- ◆設置場所:桜井市高家(安倍地区)
- ◆在学期間:2カ年 ◆定員:20人/1学年
- ◆特徴

- 1人1ストーブ方式(1人に1つの調理台を用意)を導入し、オーナーシェフ等に必要な技術力を養成。
- 調理実習などは、辻調理師専門学校の講師陣が担当。
- また、安倍校舎内に設置したオーベルジュ(宿泊施設を備えたレストラン)では、授業の一環として、レストランの厨房での調理やフロアでの接客サービスなどの実践研修を行う。

質の高い観光地づくりとサービスの充実に力を発揮し、県内で長く活躍できる人材の育成につながるよう、高等技術専門校に「観光マーケティングコース（仮称）」を新設します

## 高等技術専門校職業訓練充実事業

### 経緯

高等技術専門校では、離職者等を対象として、9つの訓練科において県内企業のニーズに合った、即戦力となる人材を育成するための職業訓練を実施し、県内で活躍できる人材の育成を行っています。

早期の就職に繋がるように、県内企業のニーズに沿った訓練内容の見直しを実施することとしました。

### 概要

#### 1. 観光マーケティングコース（仮称）の新設

宿泊産業に代表される観光産業で働く人材のスキルアップのため、企画・経営力の向上に役立つ訓練を実施する。

**訓練項目(案): マーケティング、ブランド戦略、会計実務、組織運営 等**

#### 2. 既存訓練内容の充実

企業ニーズを基に、より就業に結びつき、さらに効果的なカリキュラムへの見直しを図る。

拡充内容	
訓練科名	概要
建築科	二級(木造)建築士受験に要する実務期間の短縮 中学校卒業: 7年→5年、高等学校卒業: 7年→3年
造園技術科	訓練期間を6ヶ月から1年に延長。剪定中心のカリキュラムに造園土木・造園施工(作庭)を追加

※この他、ニーズ調査を実施予定 60

県の実情に応じた教育に関する総合的な施策の大綱として、「**奈良県教育振興大綱**」を策定(平成28年3月)。産業興しの観点を踏まえた質の高い職業人の育成、就学前教育の推進体制の構築を図ります。

産業興し(教育)

## 奈良県教育振興大綱

(抜粋)

### 施策の基本的方向性

＜基本的な考え方＞

学び手の多様性を尊重することを大前提として以下の4つの視点を重視

- ① ライフステージに応じた「縦」の円滑な接続
- ② 学校、家庭、地域など関係主体の「横」の連携・協働
- ③ 学びを支える環境整備
- ④ PDCAサイクルの徹底

### 施策の方向性(抜粋)

社会的・職業的自立に向けたキャリア教育・職業教育、就労支援の充実

- キャリア教育・職業教育の充実
- 「産業興し」の観点をも踏まえた産業分野ごとの質の高い職業人の育成
- 学び直し、就労の支援の推進

### 施策の方向性(抜粋)

基礎を培う乳幼児期における保育・教育の充実

- 教育内容、教育方法の充実
- ① 就学前教育の推進体制の構築
  - 幼稚園・保育所・認定こども園では、公立・私立ともに幼児教育の質の充実を図るため、県の関係部課による連絡調整会議を設けて連携を図るなど、**就学前教育を推進するための体制を整備**します
- ② 「就学前教育プログラム」の策定
  - **科学的な知見等の活用による就学前教育の内容を充実**させ、乳幼児の心身の発育・発達を促すための適切な遊び・運動・しつけについて専門的観点から効果的な手法を検討し、「**奈良県版就学前教育プログラム**」を策定し、普及します。

## 人材の確保

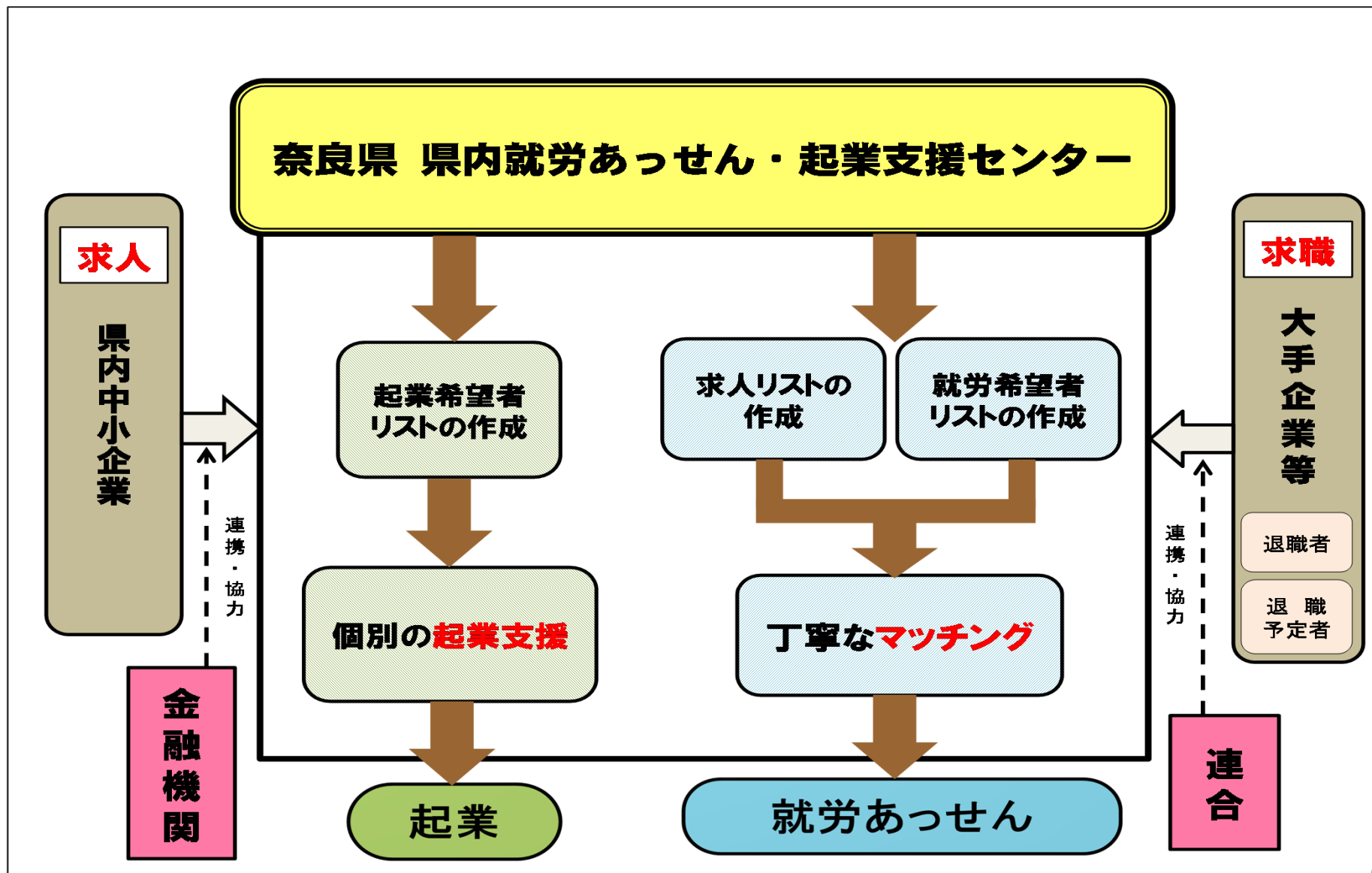
- ◆ 大手企業退職者のような高度かつ専門的な技術やノウハウを有する貴重な人材の活用や、高齢者不在による廃業の懸念がある県内企業の事業承継が必要。
- ◆ 人が人を育てる切れ目のない人材・スキルの承継が必要。



- 県内在住の大手企業退職者の再就職者のニーズと県内企業の人材のニーズのマッチング、あわせて、再就職よりもこれまでのノウハウを活かして起業したいというニーズに応える仕組みを構築。求職者、県内企業ともにメリットがあり、県の産業人材の厚みが増すことを期待。
  - 65歳以上の高齢の経営者が率いる県内企業は約4,900社。後継者として事業を継承する意欲とスキルがあり、新しいイノベーションを起こしていってくれるような人材を確保するため、後継者のいない企業情報をデータベース化し、マッチングを図る取組を推進。
- 人材確保・後継者育成のために、ほかにどのようなアイデア・施策があるだろうか。



県内在住の大手企業退職者等に対して県内中小企業への就労あっせん及び起業支援を行うため、平成27年7月13日に「奈良県 県内就労あっせん・起業支援センター」を開設しました



県内企業経営者に後継者に関する実態調査を行い、①後継者がいない企業を把握し、②個々の企業の事業承継に関する課題を把握、これを元に「後継者不足企業データベース」を構築し、「後継者育成支援隊」による後継者となるべき人材を発掘し、マッチングを目指します。

## 後継者確保推進事業

H28

H29～30

### 後継者不足企業データベース

- ・調査対象 経営者の年齢が65歳以上
- ・調査項目(案)  
経営形態(法人・個人、家族経営等)、後継者の有無、事業承継の課題、「後継者不足企業データベース」への登録の可否等  
※業種別、地域別、経営形態別に整理

### 後継者の発掘・リスト作成

- ・「後継者育成支援隊」構成メンバー  
県産業振興総合センター 経営支援課長  
地域産業振興センター 事業化推進課長  
南都銀行、奈良信用金庫、奈良中央信用金庫、大和信用金庫、県商工会議所連合会、県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会等
- ・後継者の発掘・リスト作成  
県内就労あっせん・起業支援センター、奈良・高田iセンター等で収集している求職者情報や金融機関や経済団体による取引先や会員企業からの求職者職者情報等を活用、集約し、リストを作成

### 後継者がいない企業と後継候補者とのマッチング

「後継者育成支援隊」メンバーが実施

#### 【マッチングの流れ】

- ①後継者を探している企業からの相談  
↓
- ②登録情報(候補者リスト)の検索  
↓
- ③提供・閲覧  
↓
- ④相談者の希望に応じ、面接(お見合いの場)の日時設定  
↓
- ⑤マッチング実施



## 起業

◆ 県内で起業した企業・個人事業主や、老舗企業の第二創業により、全国そして海外に展開している企業が多数存在。



• ビジネスコンテスト、起業・創業向け制度融資、インキュベーション施設など起業・創業をサポートする施策を実施。

➤ 県内の志ある起業家、若者、女性が新たにチャレンジしていくためには、どのようなアイデア・施策があるだろうか。

## 県内で、起業後経営が成功している事業者

### 中川政七商店 〈奈良市〉

#### 「モノ売りからブランド作りへ」 という発想で、赤字経営だった 事業を再興

先代が経営していた茶器事業の好調の陰で、雑貨事業は売れ筋商品の在庫が常に品薄状態、一方で売れない商品を作り続けているなど、製造ラインが管理できておらず、経営状態が芳しくなかった。

黒字転換に向けて、経営者としてできることは、「モノ」を売るだけではなく、「ブランド」を作ることが必要なのではないかと考え、ほとんど卸売業だった業態から、SPA(製造小売)業態にシフトした。

結果、赤字事業を再興し(年商4億→37億)、更に2009年からは業界特化型の経営コンサルティング事業を開始。

現在、全国55箇所で事業展開するとともに、このノウハウを活かし、13社のコンサルティングを行っている。

### OFFICE CAMP HIGASHIYOSHINO 〈東吉野村〉

#### 「遊ぶように働く」 山村のシェアハウス

過疎化が進む東吉野村では、若者の定住・移住に向けて様々な取組を行ったが、期待する効果が得られずにいた。

大阪から移住してきたデザイナーが、都会に縛られずに暮らし、働きたいと思うクリエイターの為のシェアオフィスを提案。提案に沿って、村が県や国と連携して、空き家をリノベーション。

クリエイターが主体となった運営と村のサポートに徹する態度が、彼らのセンスを引き出し、人を惹きつける魅力を生み出した。

全国からクリエイターが訪れ、一部には移住が決めた者もいる。また、これが契機となって、まちづくり協議会が発足する等、商店街に賑わいを取り戻そうと、地元住民が活動を開始し、にわかに注目が集まっている。

### くるみの木 〈奈良市〉

#### 商売初体験の専業主婦が、 お客と誠実に向き合うことで 築きあげた店

創業当時、カフェや雑貨店は珍しかったことや、商売初体験で手探り状態のため、客も少なく、閑古鳥が鳴く日が多かった。

挫けそうになっても、揺らぐことなく、自分がやりたいことを追求。

「くらしを楽しむ」をテーマに、「自分が納得できたもの」をお客に提供するため、居心地のよい空間づくりにこだわった結果、徐々に「くるみの木ファン」が増加。

今では、「全国から年間約2万人がランチを食べに訪れる有名店」と呼ばれているほか、経営の傍ら、これまで培ってきた経営ノウハウを活かし、コンサルティング・プロデュース業を手がけている。

## 奈良県の創業・起業メニューの支援又は参画により、経営が成功している事業者

TSUJIMURA  
〈吉野町〉

### 地域活性化を目指す 吉野のカフェ

先代から受け継いだ酒屋の現状を危惧し、打破しようと様々な勉強会に参加。



「奈良ブランド開発支援事業」の勉強会に参加し、新たな人脈形成を通じ、新事業への転換の可能性の気づきを得た。  
勉強会に参加するたびに、創業への意欲が高まるとともに、地元吉野の活性化への思いも強くなり、事業転換を決意、2013年3月、心機一転スタートした。



2012年度「奈良贈り物」プロジェクト商品として、「葛菓子」が選ばれ、現在、首都圏への販路の拡大を行っているほか、2014年には、ビジコン奈良の「お店づくり部門」において、県産木材を使った店舗プランで、知事賞を受賞するなど、地域に根ざした事業を展開中。

TABI・SQUARE  
〈奈良市〉

### 奈良と世界をつなぐ事業展開

人力車のアルバイトで「地下足袋が欲しい」という外国人の声を多く耳にし、これは売れると確信し、独立を決意。



2007年に奈良市の店舗系インキュベーションで創業。2010年の平城遷都1300年祭に向けた盛り上がりの波に乗り、メディアでの露出が増えたほか、知人の紹介により、2012年にパリで1週間限定の出店をしたことがきっかけで、販路が開け、以後、様々な展示会へ出展。

2009年には、卸売製造販売の事業構想を展開するため、県のインキュベーションにも入居。



現在は、足袋販売の実店舗2店舗を構え、年間2,500組の外国人が購入する店舗に成長し、ネット通販も行うなど、順調に事業を展開。

下市木工舎「市 ichi」  
〈下市町〉

### 鉋のみで制作する 家具の販売

兵庫県内の家具工場で3年半の修行の後、吉野杉を活かした家具の良さを広めようと、吉野杉の製材加工が盛んな下市町での家具工房の開業を決意。



技術はあるが、経営面での予備知識が全くなかったため、よろず支援拠点のアドバイザーの指導の受け、経営に必要な経営目標の策定から会計処理のノウハウまでを学び、事業をスタート。



杉の柔らかな手触りと鉋ならではの質感にこだわった家具は、メディアでの露出や展示会の出展等により、徐々に認知度が向上。

また、県の起業支援事業の訓練実施事業者に認定されており、4人の弟子を迎え、技能伝承に取り組むほか、若者が集う場にもなっており、地域活性化にも貢献。

- ◆働いて良しの奈良県の実現に向かって、4つの柱を据えて、取組を進めていきたいと考えています。
- ◆この取組の方向性、あるいは取組にあたっての助言やアドバイスをいただければと思います。

ご静聴ありがとうございました



©NARA pref.

第32回国民文化祭・なら2017  
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会  
2017.9.1~11.30開催